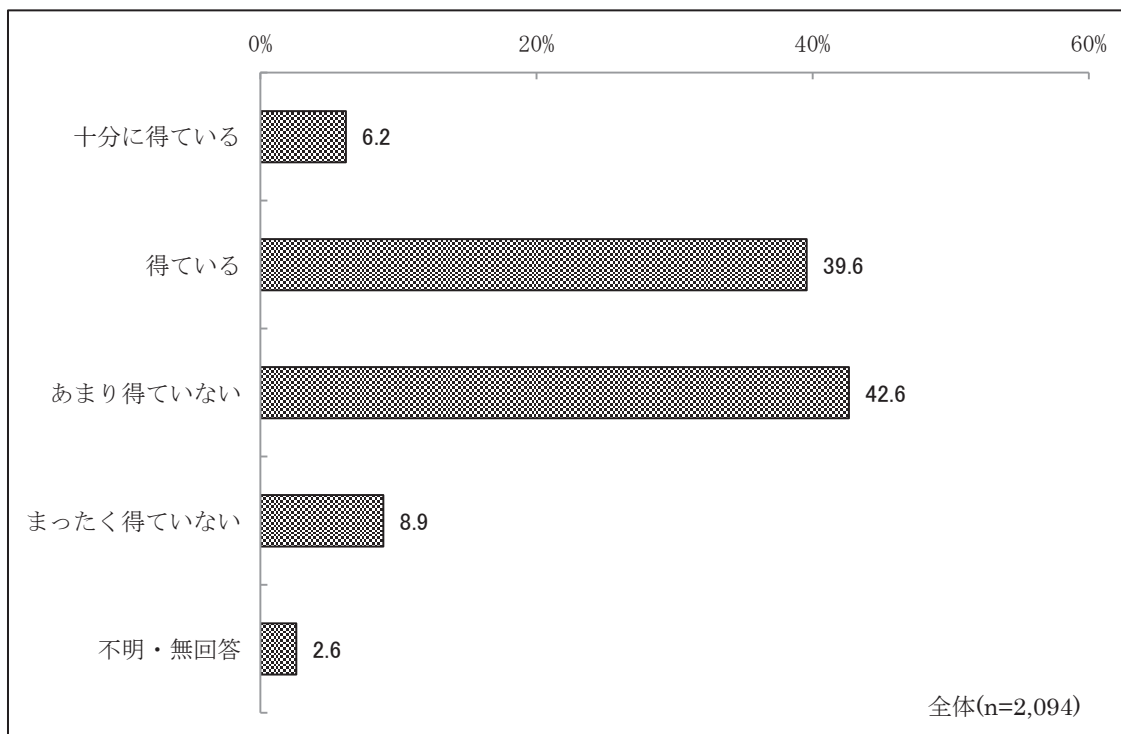


3. 市政情報の入手方法について

(1) 市政情報の取得満足度

問29 あなたは、新潟市の市政や暮らし、イベントなどに関する市政情報を十分に得ていますか。
(○は1つだけ)



——— 市政情報を「十分に得ている」、「得ている」で4割以上 ———

【全体結果】

市政情報に関しては、「十分に得ている」(6.2%)、「得ている」(39.6%)を合わせて45%を超えている。一方、「あまり得ていない」(42.6%)、「まったく得ていない」(8.9%)を合わせると5割を超える。

【属性別結果】(図3-1参照)

①地区別

「十分に得ている」と「得ている」を合わせた割合が最も高いのは江南区(50.9%)、最も低いのは西蒲区(38.7%)となっている。

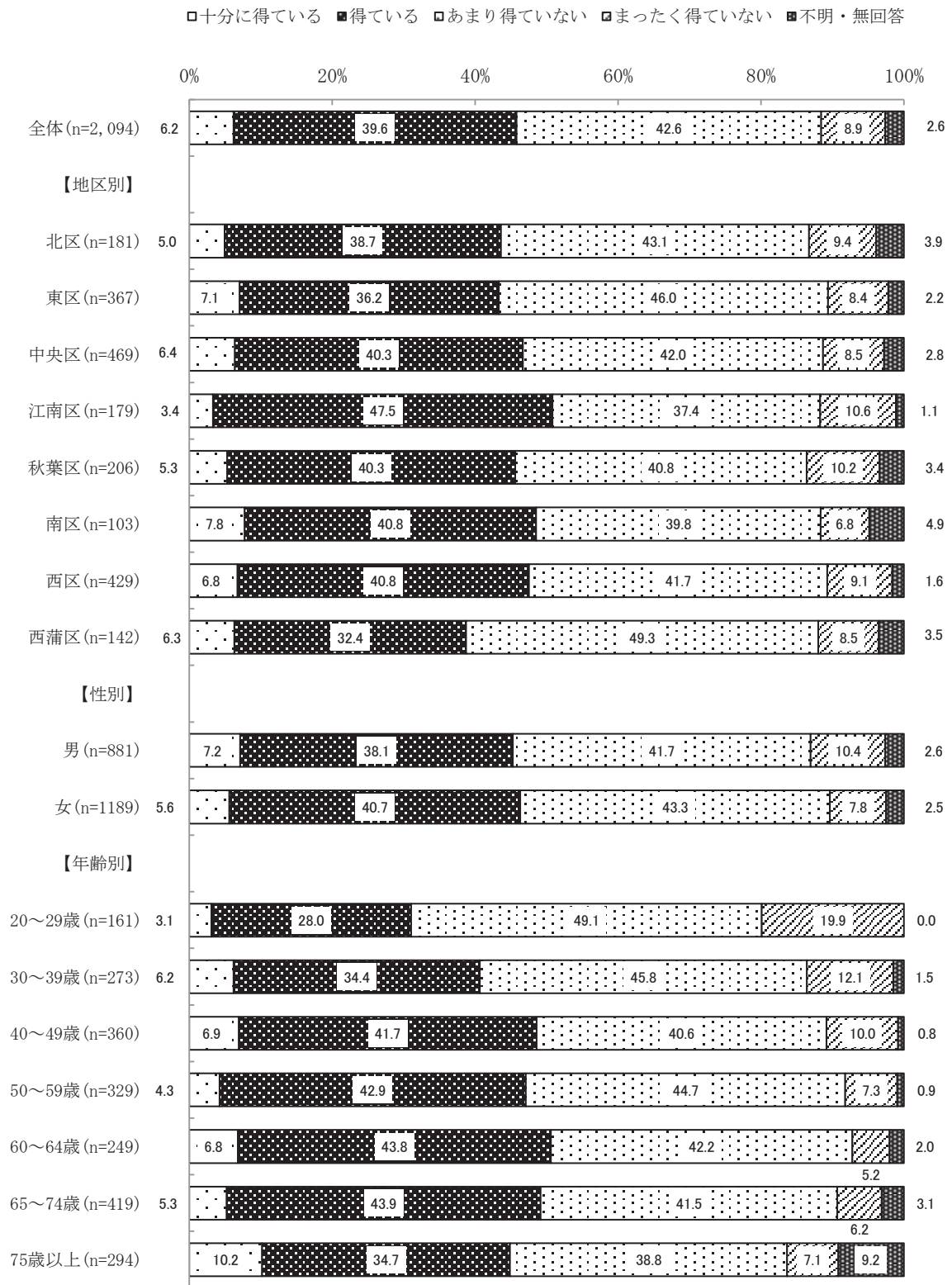
②性別

性別による差はほとんど見られない。

③年齢別

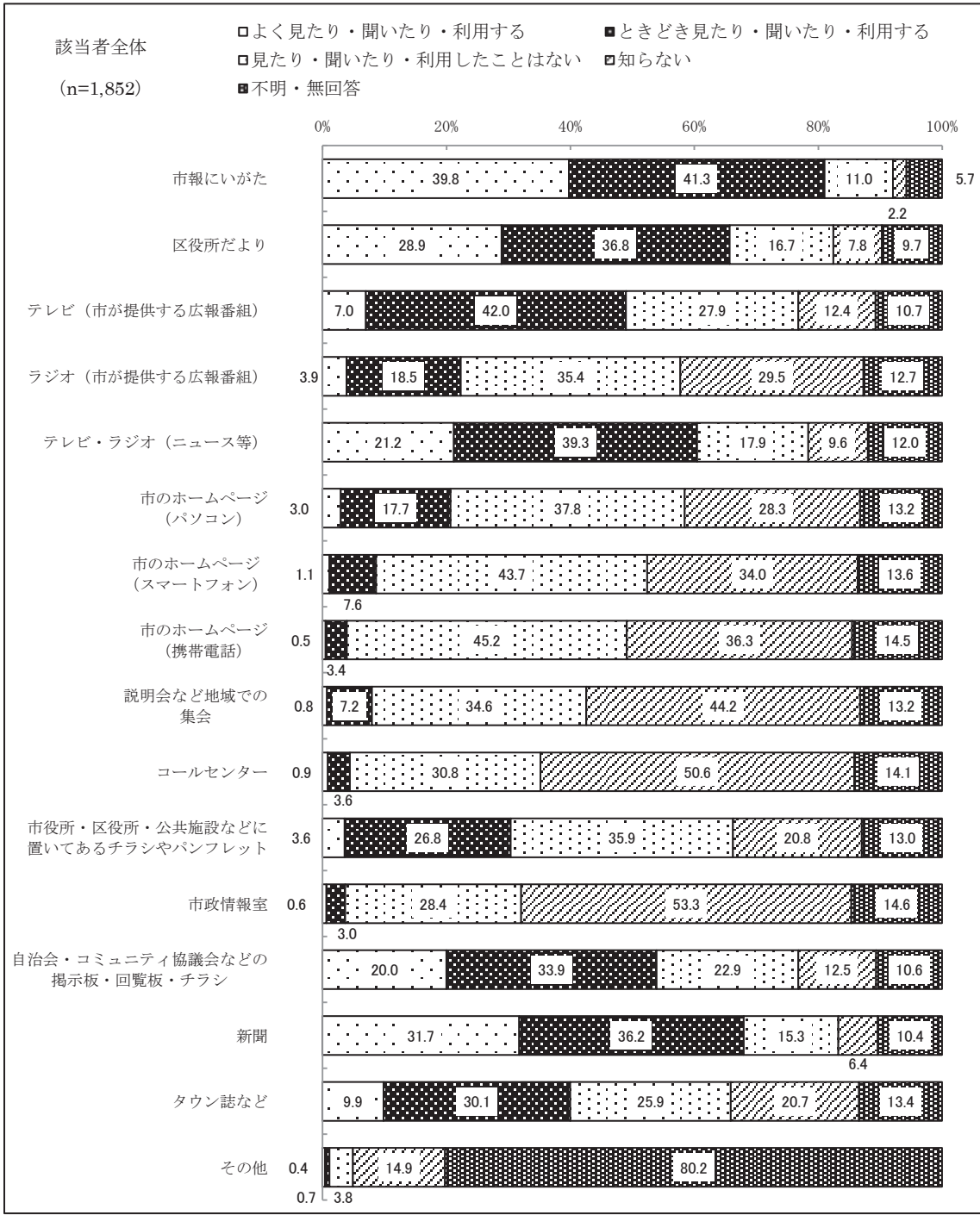
「十分に得ている」と「得ている」を合わせた割合が最も高いのは60～64歳（50.6%）、最も低いのは20代（31.1%）となっている。

図 3-1 市政情報の取得満足度（地区別/性別/年齢別）



(2) 市政情報の入手先

(問29で「1」「2」「3」(得ている、あまり得ていない)と回答した方への該当質問)
 問30 市政情報を得ている、あまり得ていないと答えた方にお聞きします。
 あなたは、新潟市が発信する市政情報を何から入手していますか。
 それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。
 (○はそれぞれ1つずつ)



【全体結果】

市政情報の入手先として、『よく見たり・聞いたり・利用する』の割合が最も高いのは「市報にいがた」(39.8%)で、以下、「新聞」(31.7%)、「区役所だより」(28.9%)、「テレビ・ラジオ(ニュース等)」(21.2%)の順となっている。

『ときどき見たり・聞いたり・利用する』については、「テレビ(市が提供する広報番組)」(42.0%)、「市報にいがた」(41.3%)、「テレビ・ラジオ(ニュース等)」(39.3%)の順で割合が高くなっている。

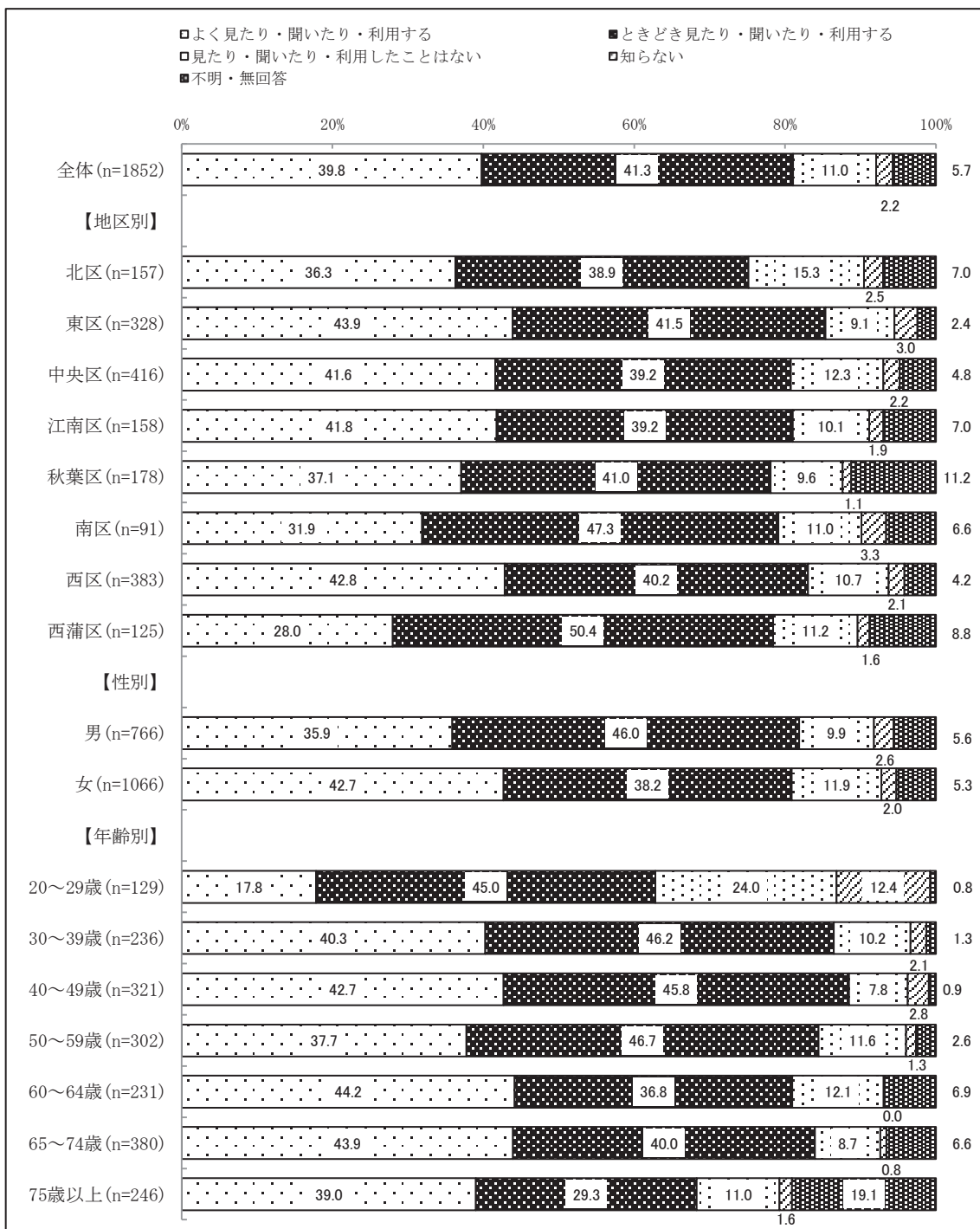
一方、『見たり・聞いたり・利用したことはない』の割合が高いのは、「市のホームページ(携帯電話)」(45.2%)、「市のホームページ(スマートフォン)」(43.7%)、「市のホームページ(パソコン)」(37.8%)の順となっている。

『知らない』の割合が最も高いのは、「市政情報室」(53.3%)で、「コールセンター」(50.6%)、「説明会など地域での集会」(44.2%)、「市のホームページ(携帯電話)」(36.3%)と続いている。

【属性別結果】

次ページ以降に市政情報の入手先ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

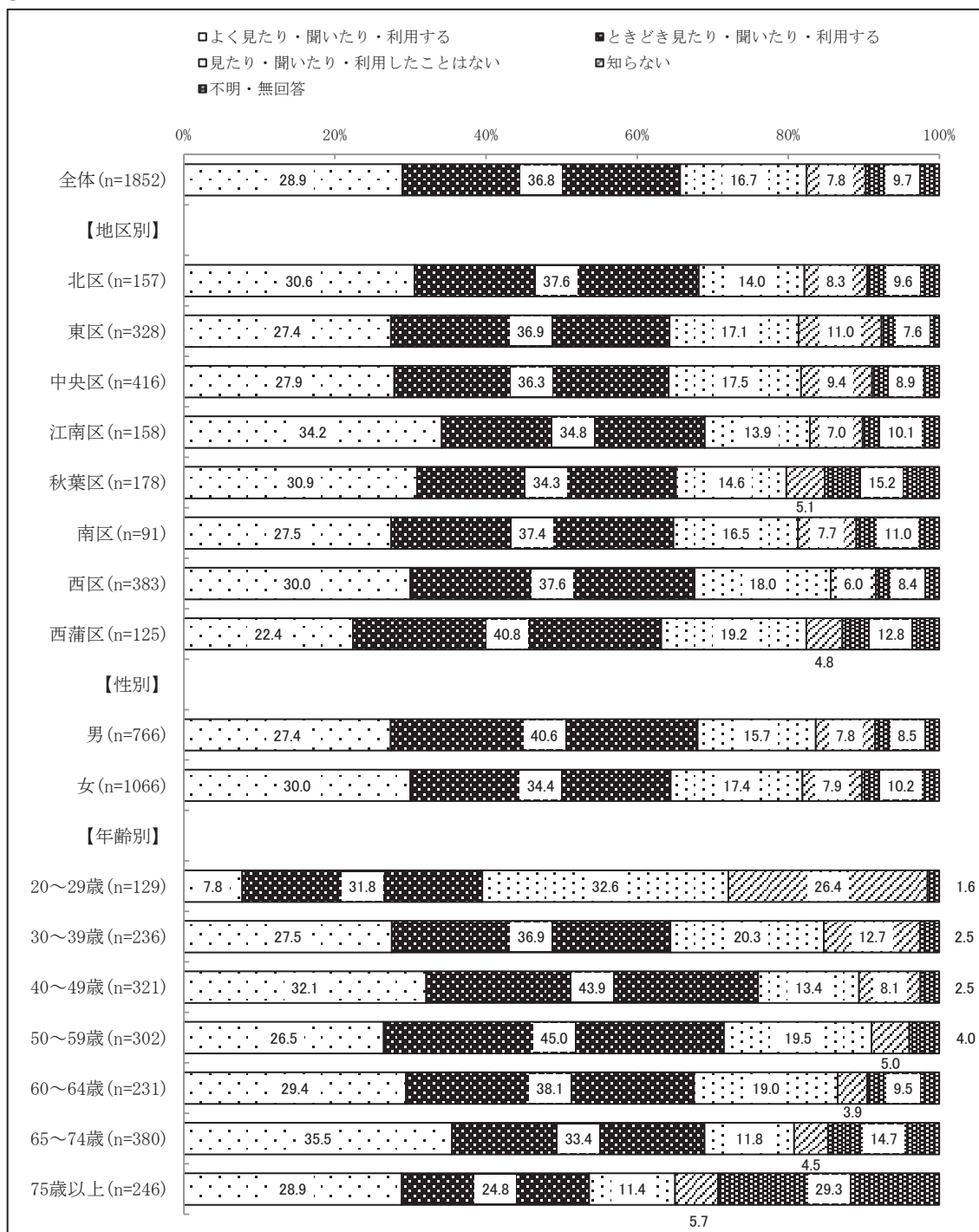
①市報にいがた



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では東区(85.4%)で最も高くなっている。年齢別では、40代(88.5%)で最も高く、20～29歳(62.8%)、75歳以上(68.3%)で割合が低い。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では北区(17.8%)、年齢別では20代(36.4%)で最も高くなっている。

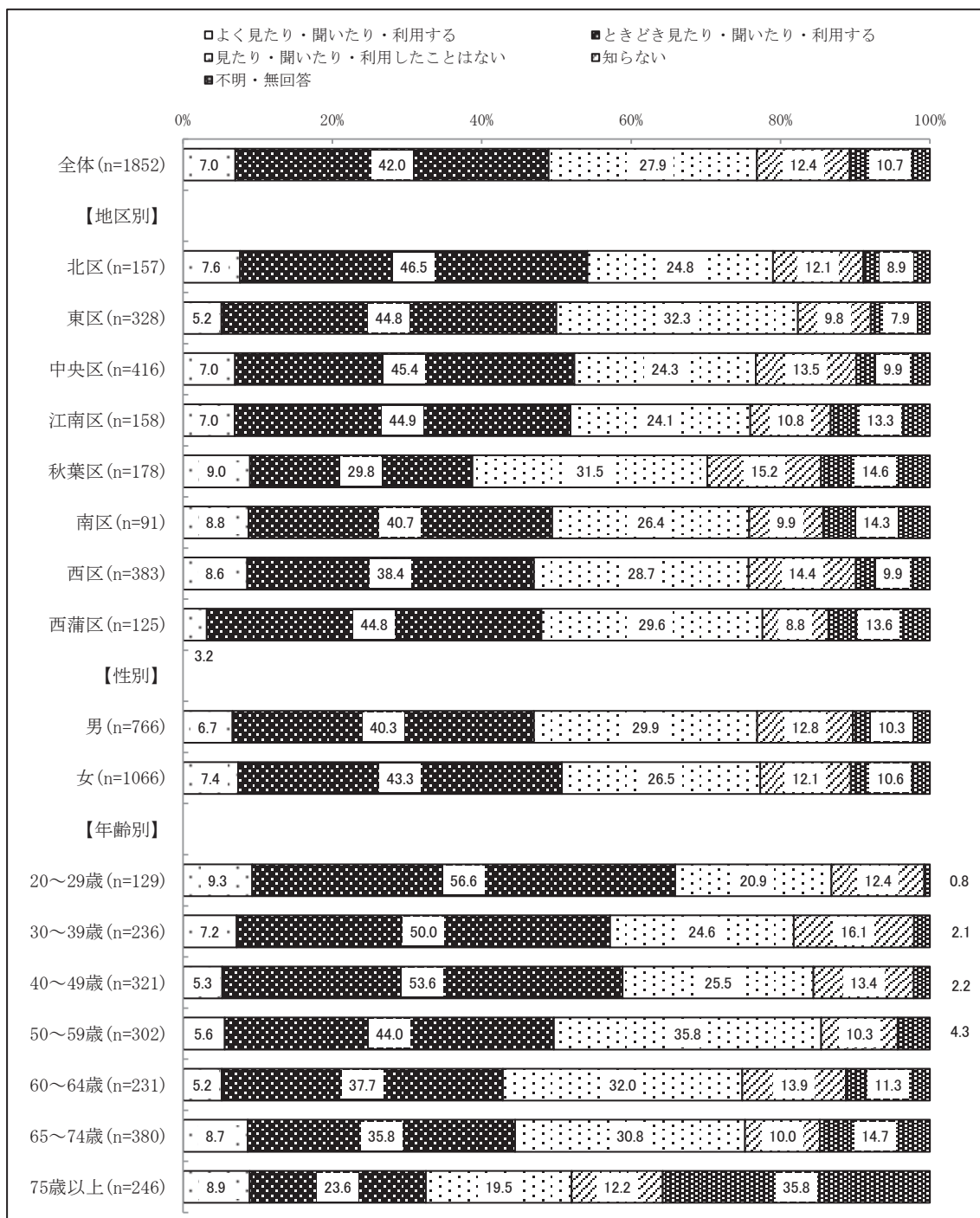
②区役所だより



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では江南区（69.0%）で最も高くなっている。性別では男性がやや高く、年齢別では、40代（76.0%）が最も高い。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では東区（28.0%）、年齢別では20代（58.9%）で最も高くなっている。

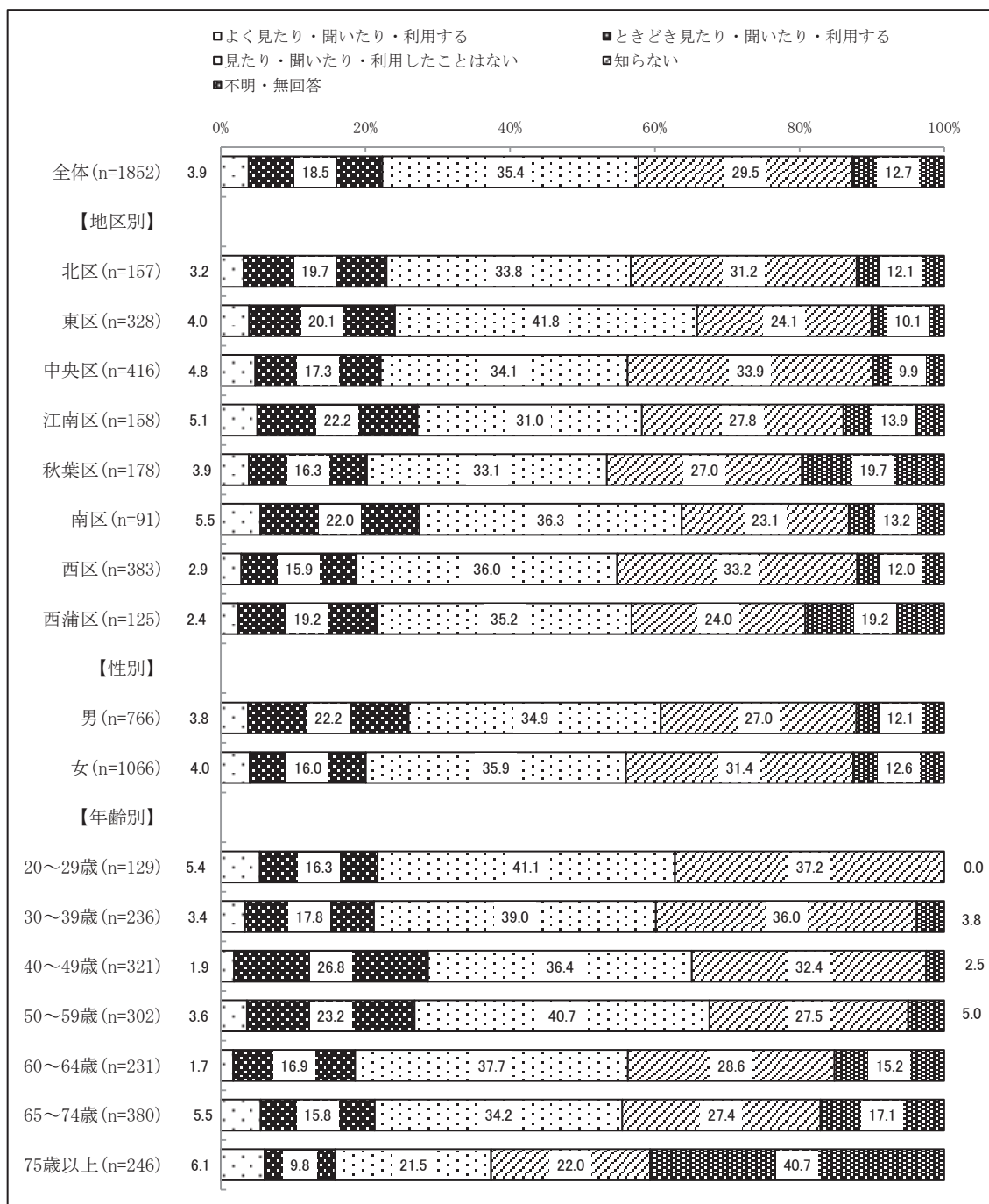
③テレビ（市が提供する広報番組）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では北区（54.1%）で最も高くなっている。性別では女性で高く、年齢別では、20代（65.9%）で最も高い。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（46.6%）、年齢別では50代（46.0%）で最も高くなっている。

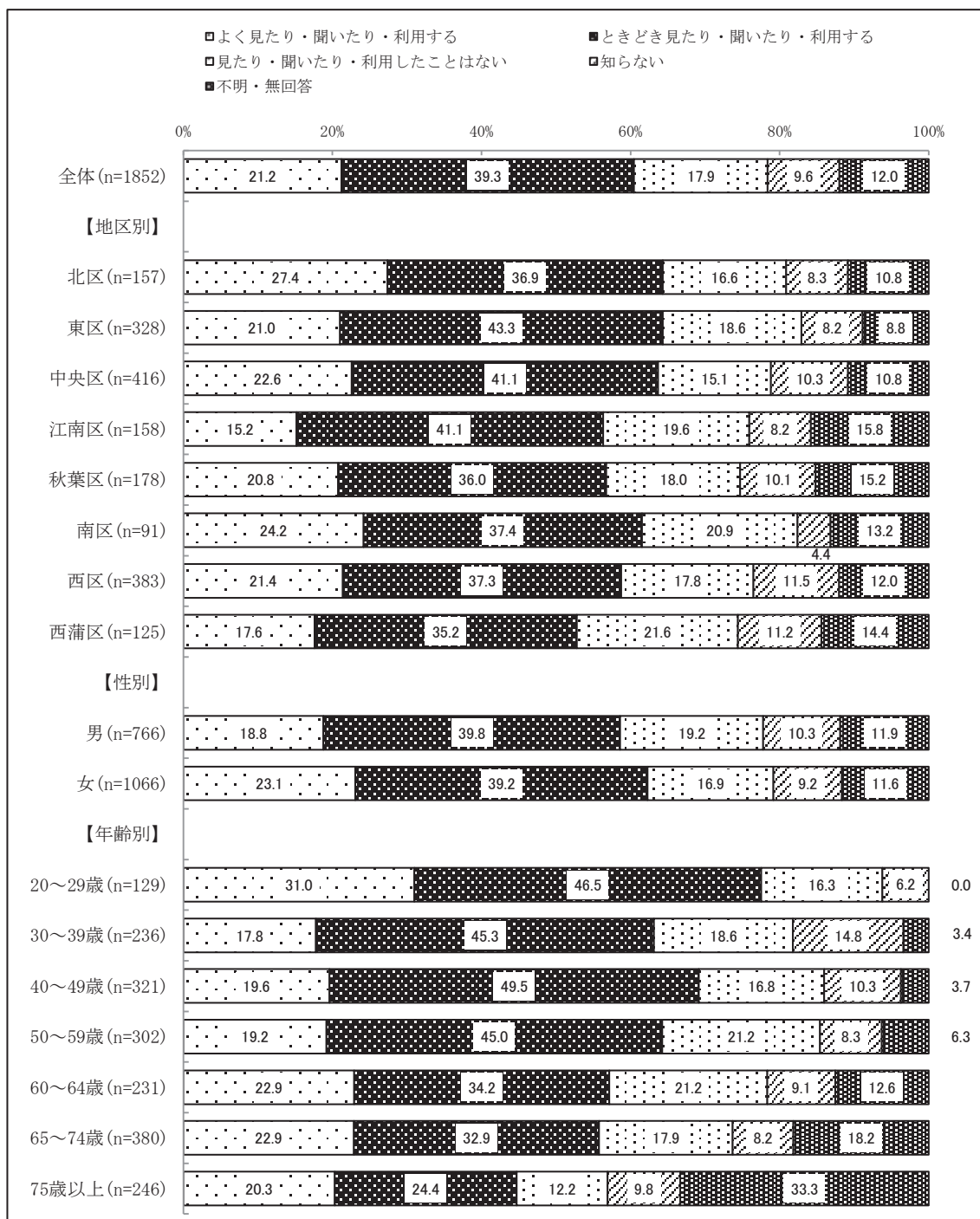
④ラジオ（市が提供する広報番組）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では南区（27.5%）で最も高くなっている。性別では男性が高く、年齢別では、40代（28.7%）が最も高い。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、6割を超えている属性が多く、地区別では西区（69.2%）、年齢別では20代（78.3%）で最も高くなっている。

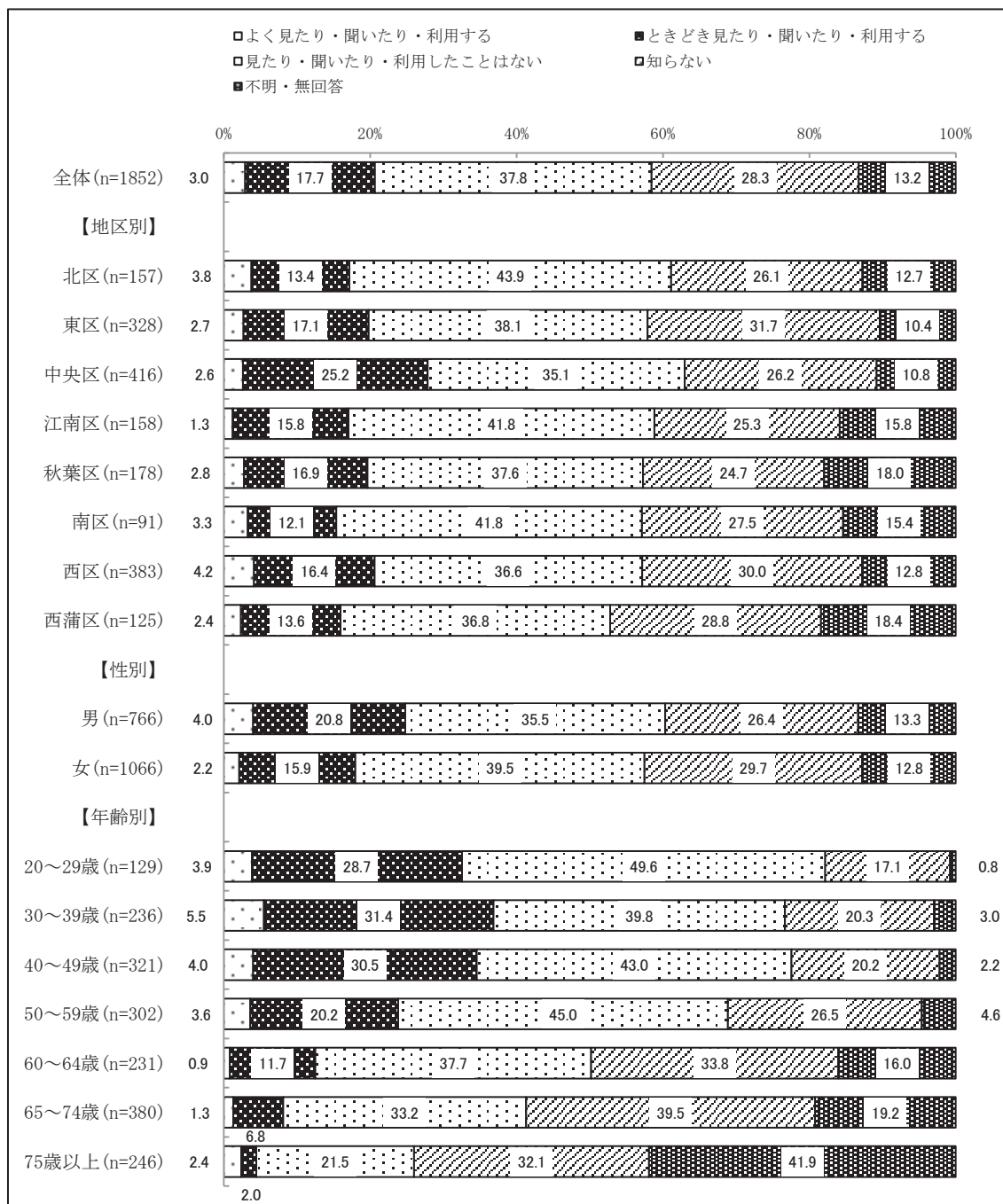
⑤テレビ・ラジオ（ニュース等）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では北区、東区（いずれも 64.3%）で最も高くなっている。性別では女性で高く、年齢別では、20代（77.5%）で最も高い。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（32.8%）、年齢別では30代（33.5%）で最も高くなっている。

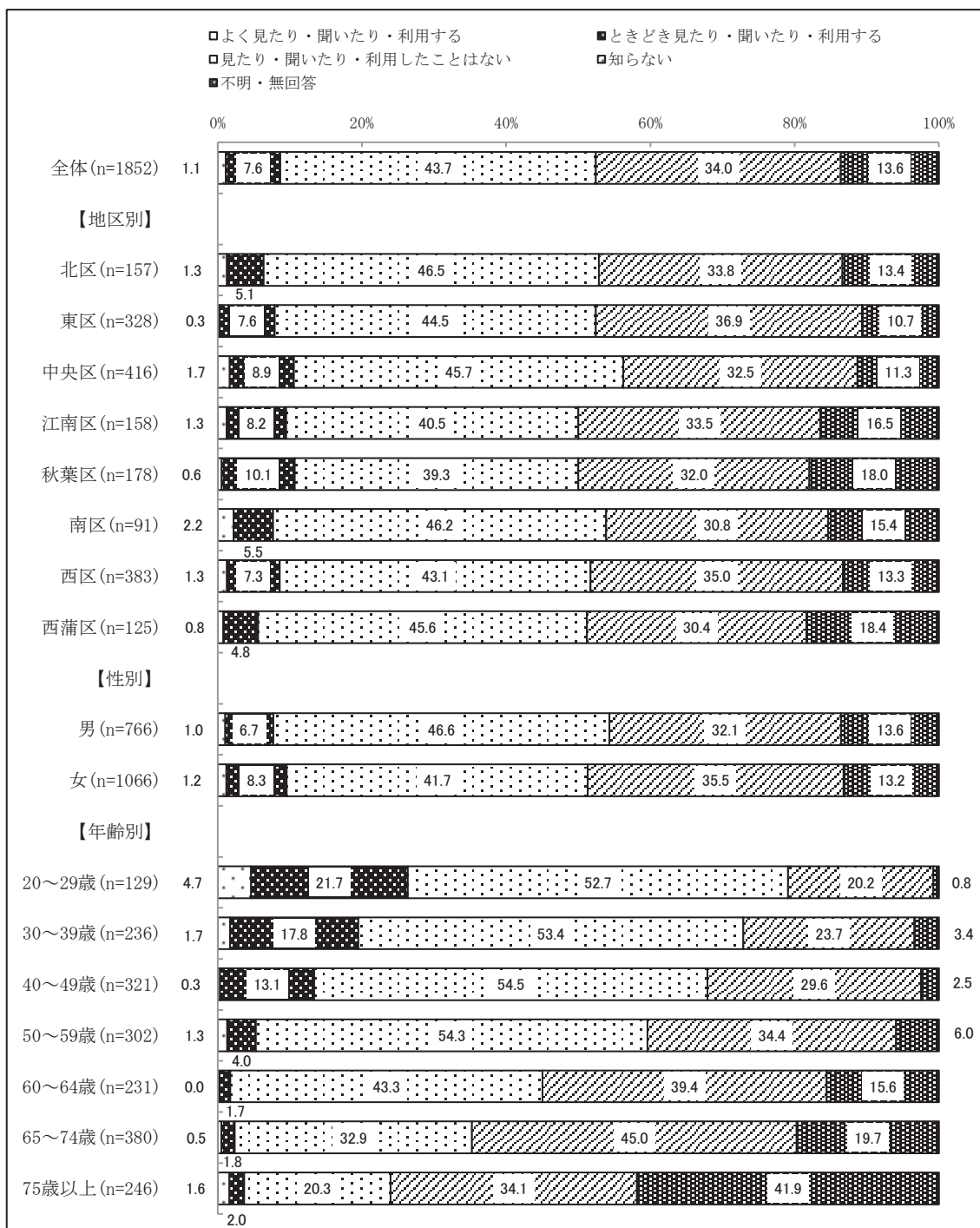
⑥市のホームページ（パソコン）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では中央区（27.9%）で最も割合が高い。性別では、女性（18.0%）より男性（24.8%）で割合が高い。年齢別では50代（23.8%）で2割を超え、20代（32.6%）、30代（36.9%）、40代（34.6%）では3割以上となっている。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では北区（70.1%）、年齢別では65～74歳（72.6%）で最も高くなっている。

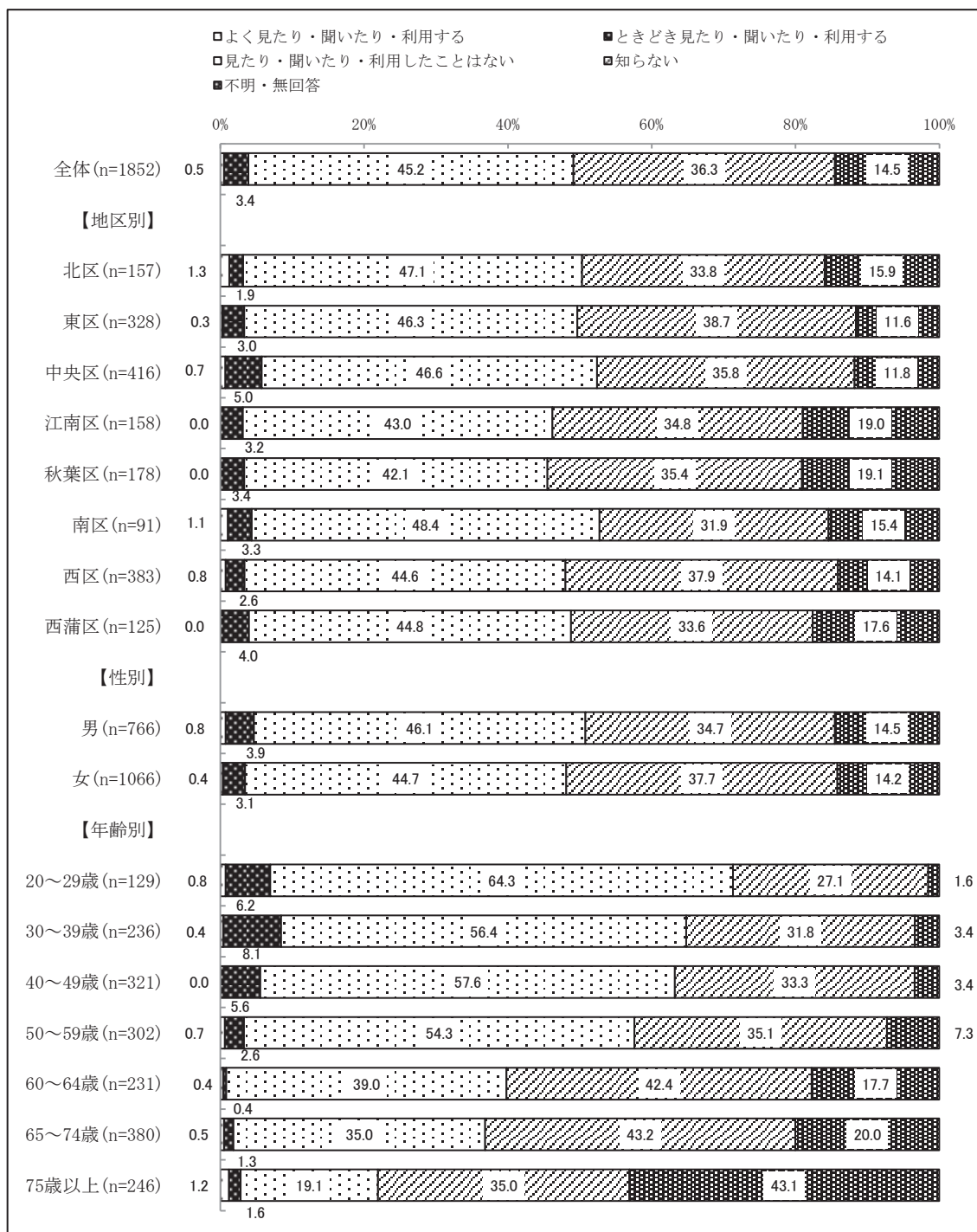
⑦市のホームページ（スマートフォン）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、年齢別では20代（26.4%・年齢別で最高）で2割を超えた。30代（19.5%）、40代（13.4%）で1割を超えている。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では東区（81.4%）、年齢別では50代（88.7%）で最も高くなっている。

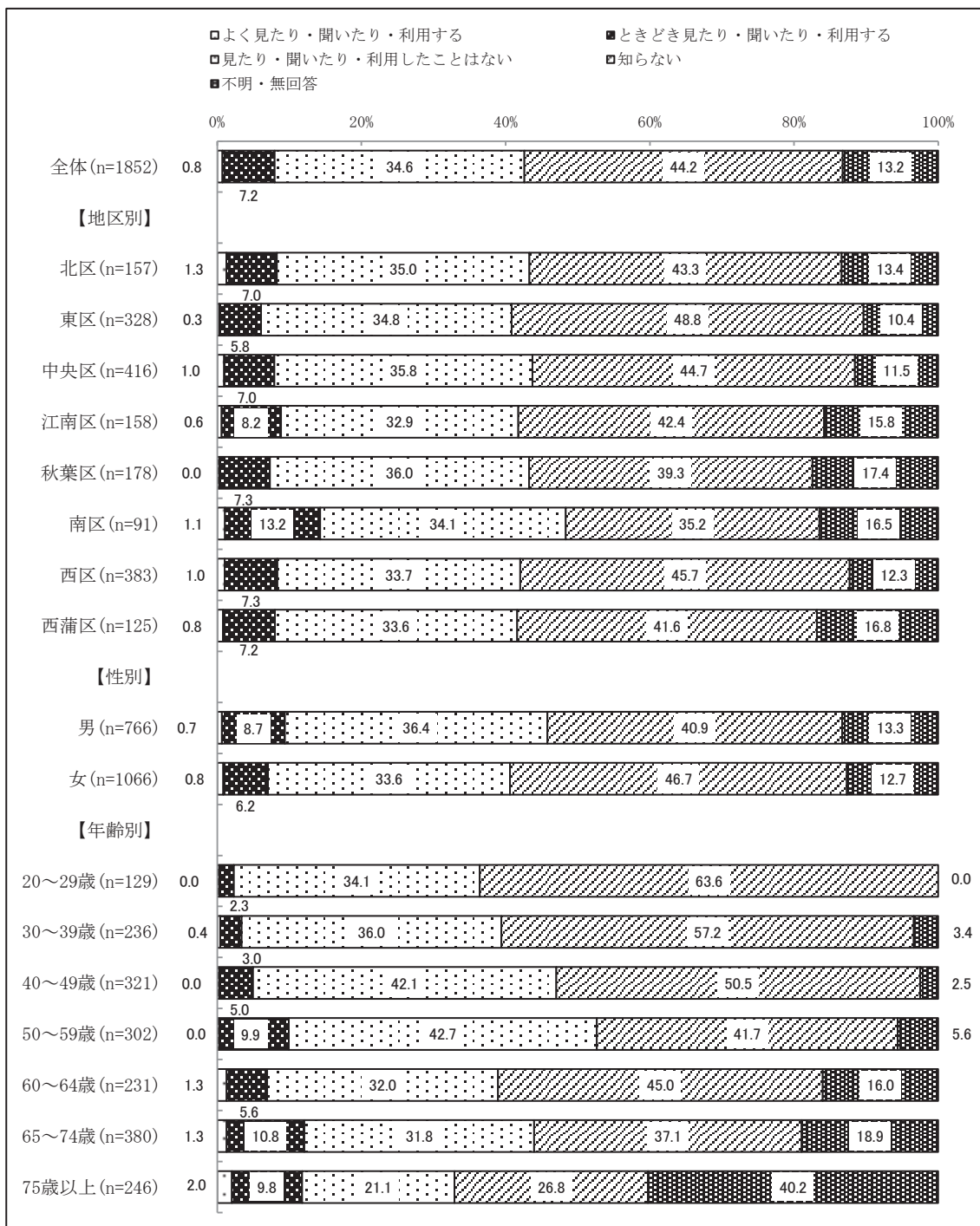
⑧市のホームページ（携帯電話）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では中央区（5.8%）、年齢別では30代（8.5%）で最も高くなっている。性別ではあまり差が見られない。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では東区（85.1%）、年齢別では20代（91.5%）で最も高くなっている。

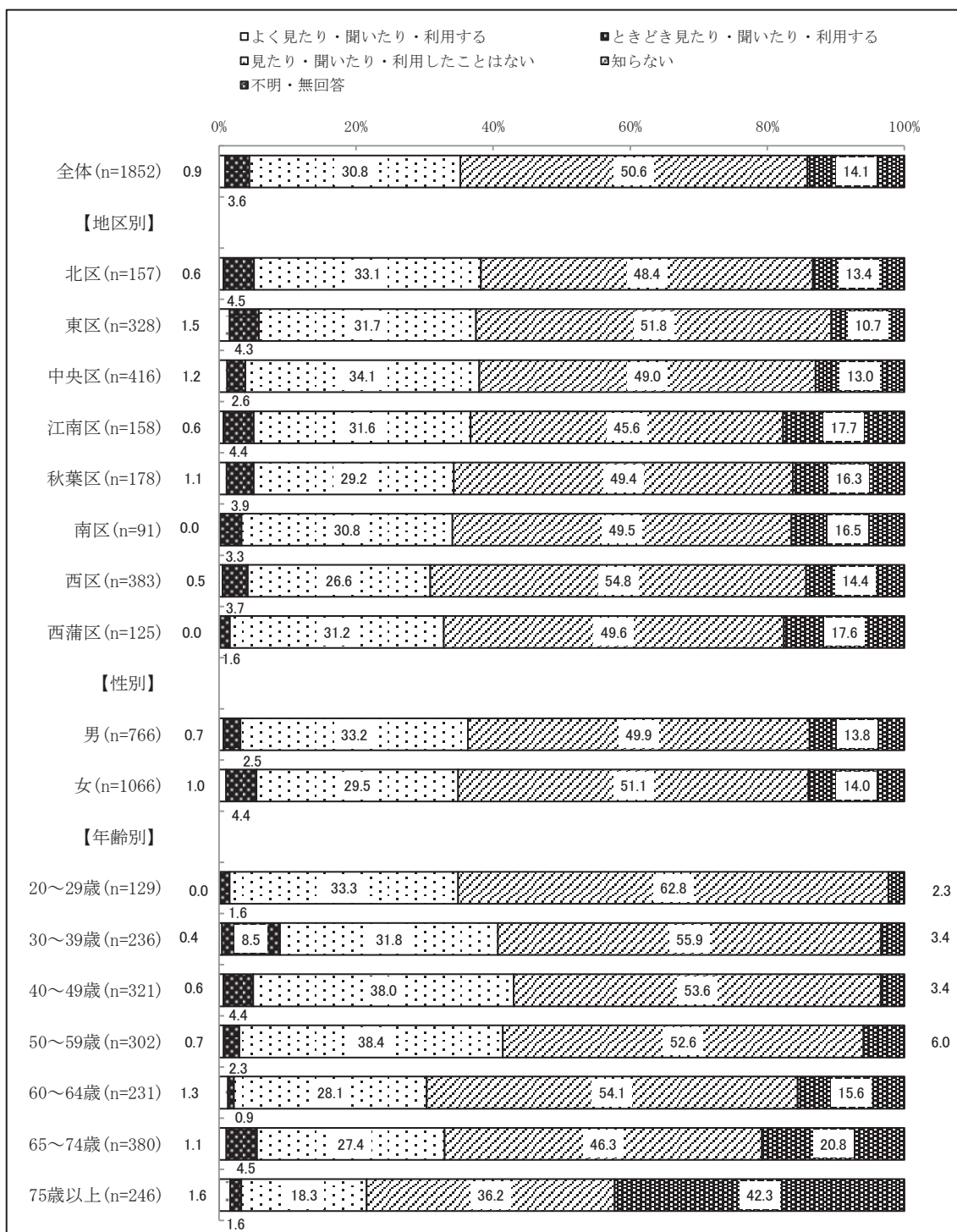
⑨説明会など地域での集会



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では南区（14.3%）で最も高い。年齢別では65～74歳（12.1%）、75歳以上（11.8%）で、他の年齢と比べて、割合が高い。性別による差はほとんどない。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では東区（83.5%）、年齢別では20代（97.7%）で最も高くなっている。

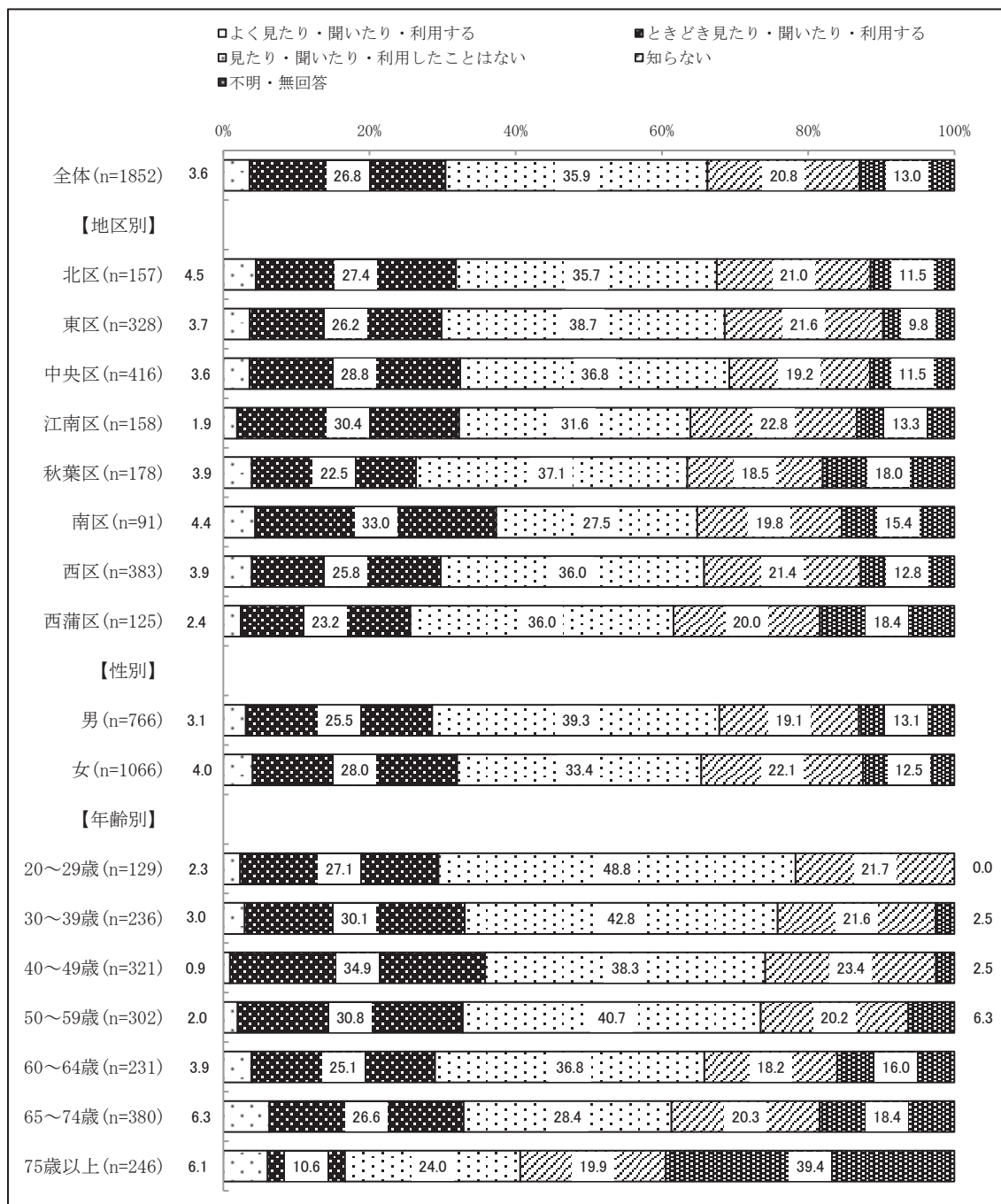
⑩コールセンター



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、年齢別では、30代（8.9%）で最も高くなっている。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、年齢別では20代（96.1%）で、最も割合が高い。

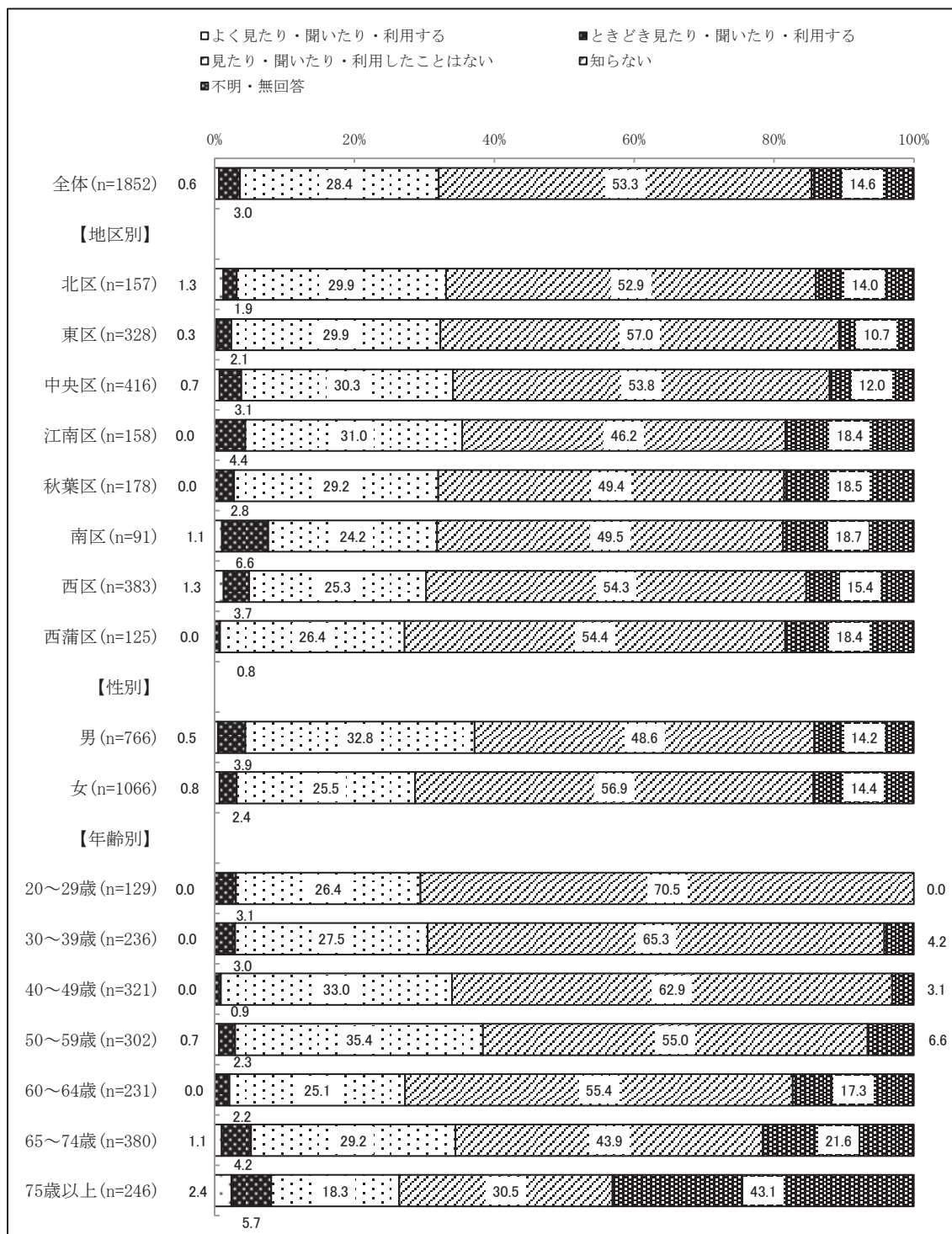
⑪市役所・区役所・公共施設などに置いてあるチラシやパンフレット



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では南区（37.4%）、年齢別では40代（35.8%）が最も高くなっており、性別では、男性（28.6%）より女性（32.0%）で割合が高い。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では東区（60.4%）、年齢別では20代（70.5%）で最も高くなっている。

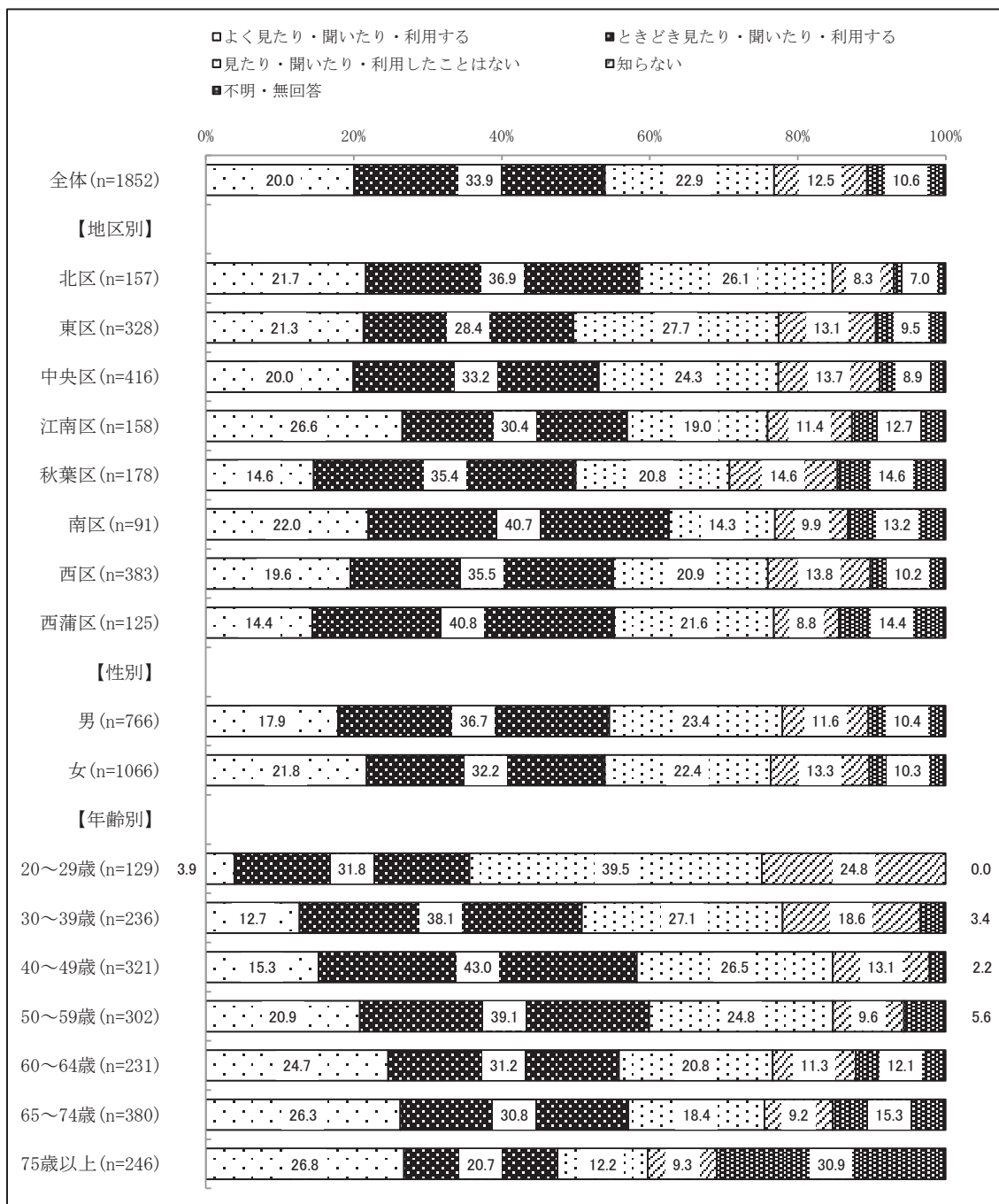
⑫ 市政情報室



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では南区（7.7%）、年齢別では75歳以上（8.1%）で割合が高い。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では東区（86.9%）、年齢別では20代（96.9%）で最も高くなっている。

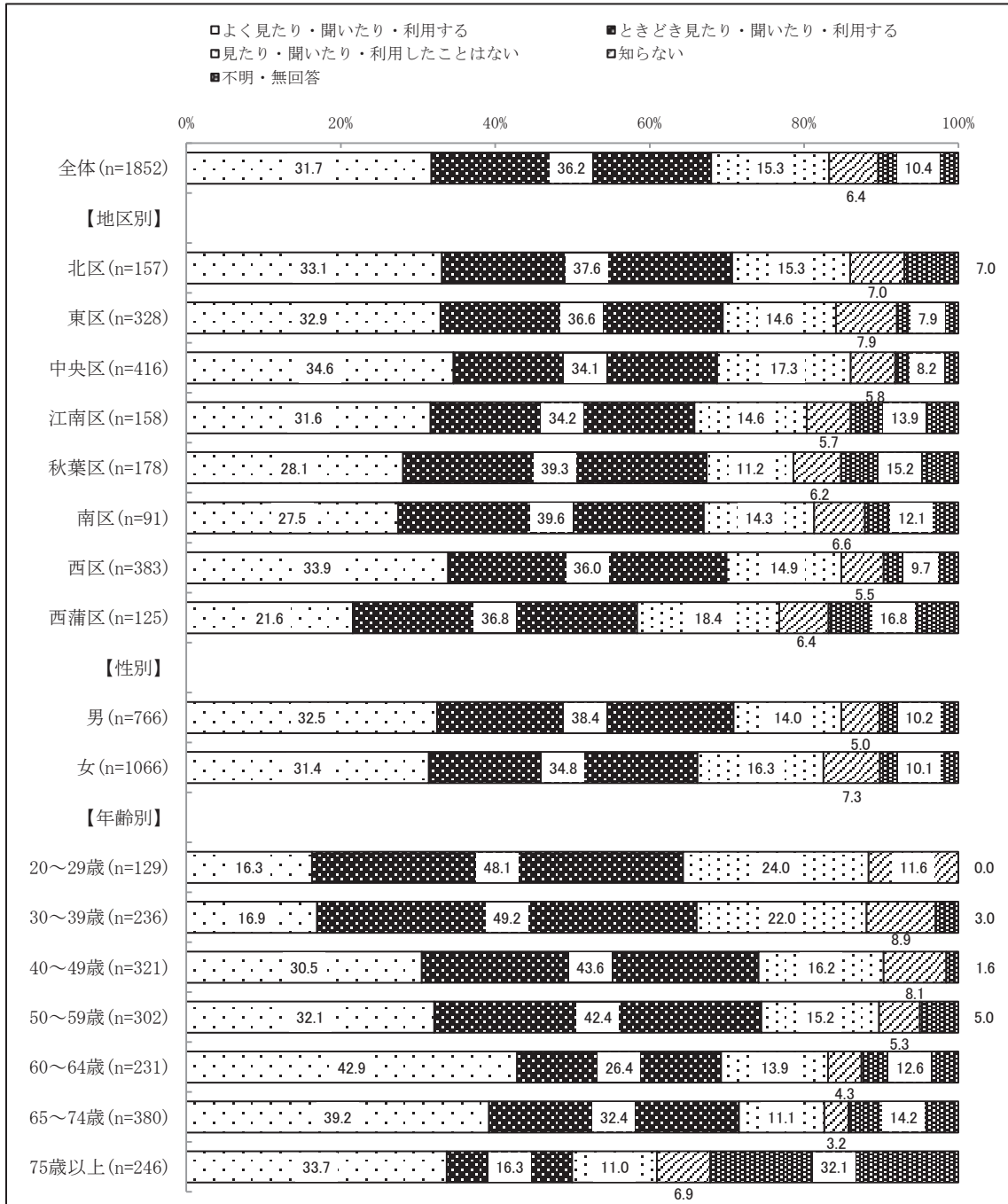
⑬自治会・コミュニティ協議会などの掲示板・回覧板・チラシ



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では南区 (62.6%)、年齢別では 50 代 (59.9%) が最も高くなっており、性別による差はほとんどない。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では東区 (40.9%)、年齢別では 20 代 (64.3%) で最も高くなっている。

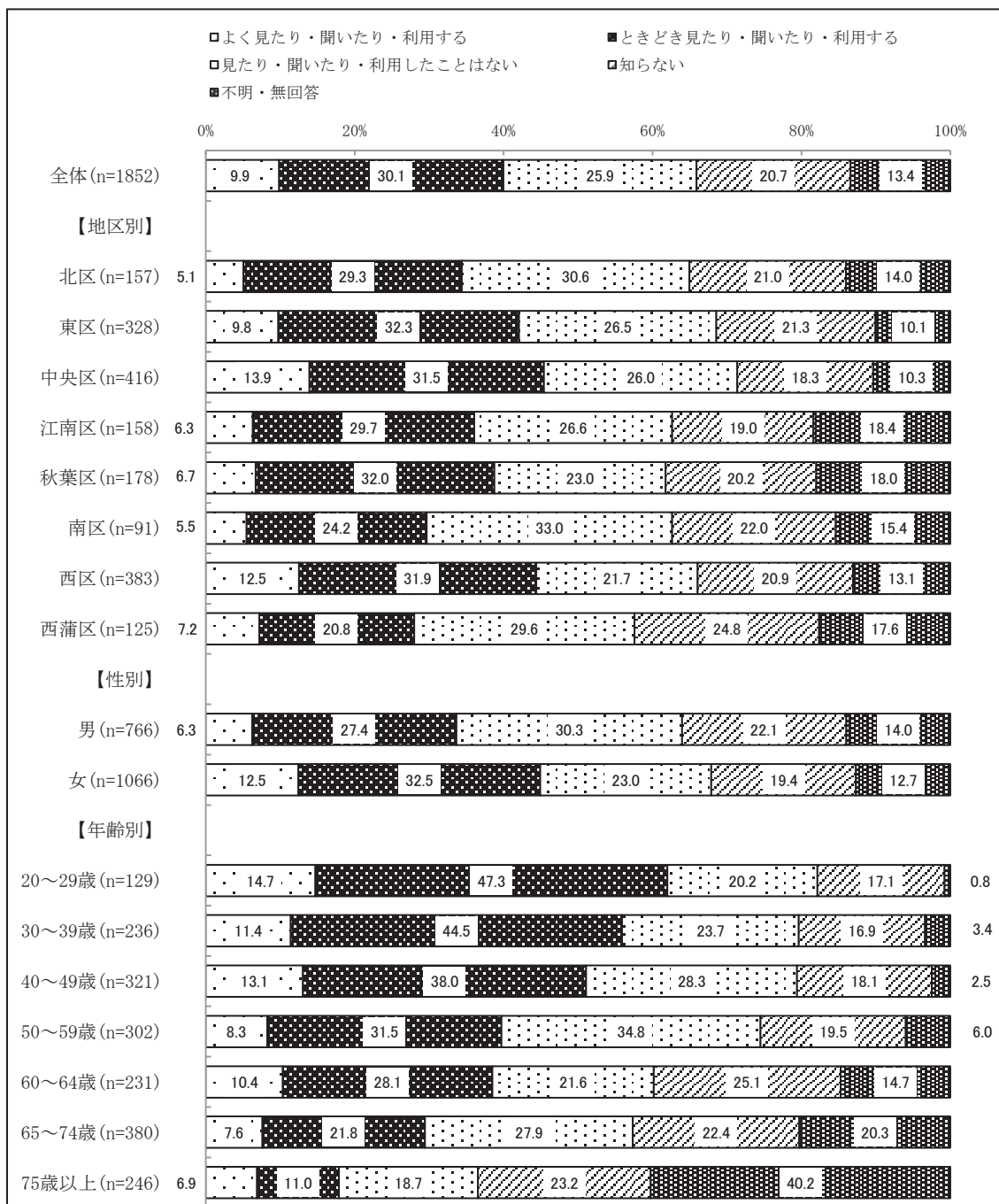
⑭新聞



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では北区（70.7%）で最も高くなっている。性別では男性がやや高く、年齢別では50代（74.5%）が最も高い。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（24.8%）、年齢別では20代（35.7%）で最も高くなっている。

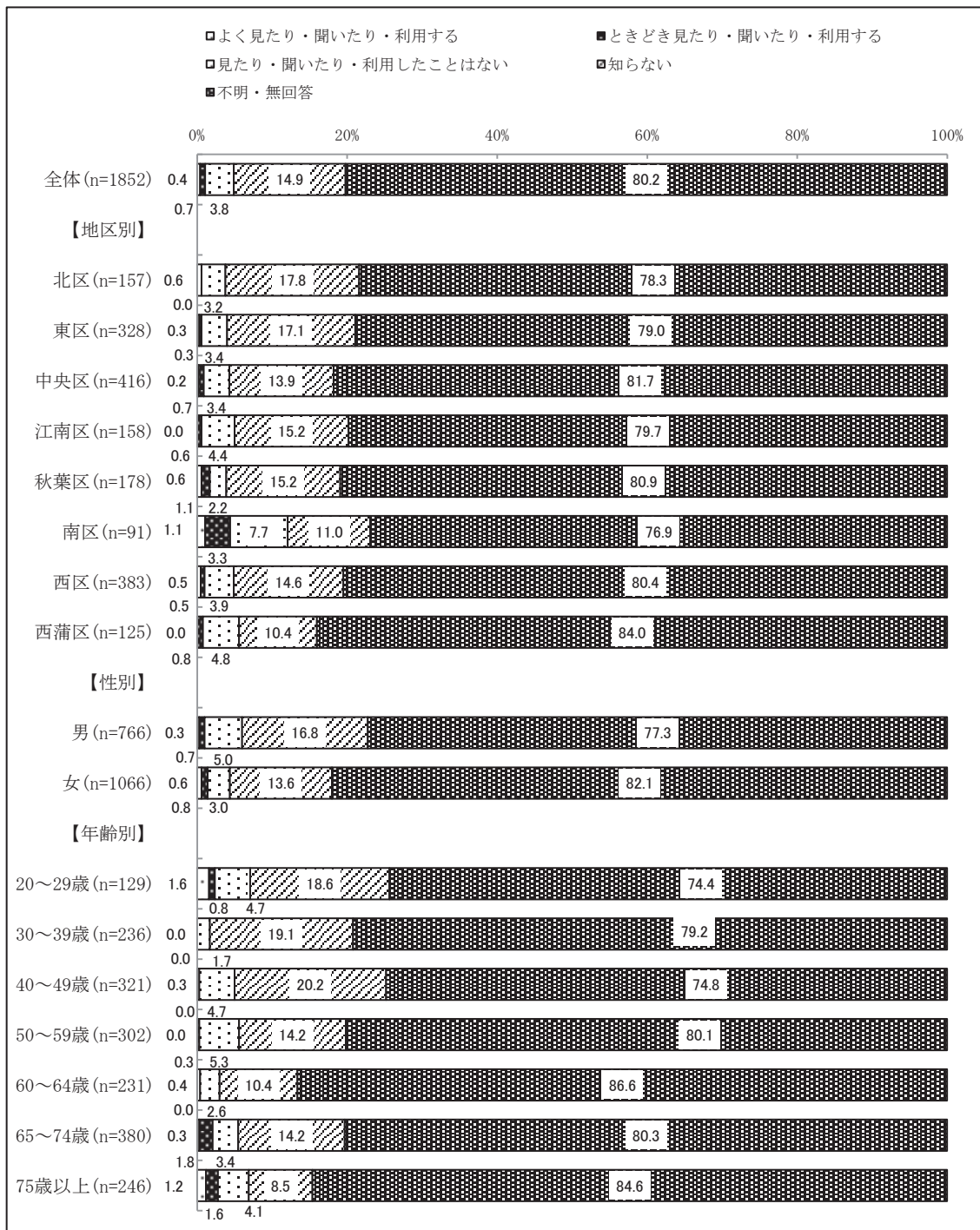
⑮タウン誌など



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では中央区 (45.4%) で最も高くなっている。性別では男性 (33.7%) に比べて女性 (44.9%) で高く、年齢別では20代 (62%) で最も高い。

一方、「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では南区 (54.9%)、年齢別では50代 (54.3%) で最も高くなっている。

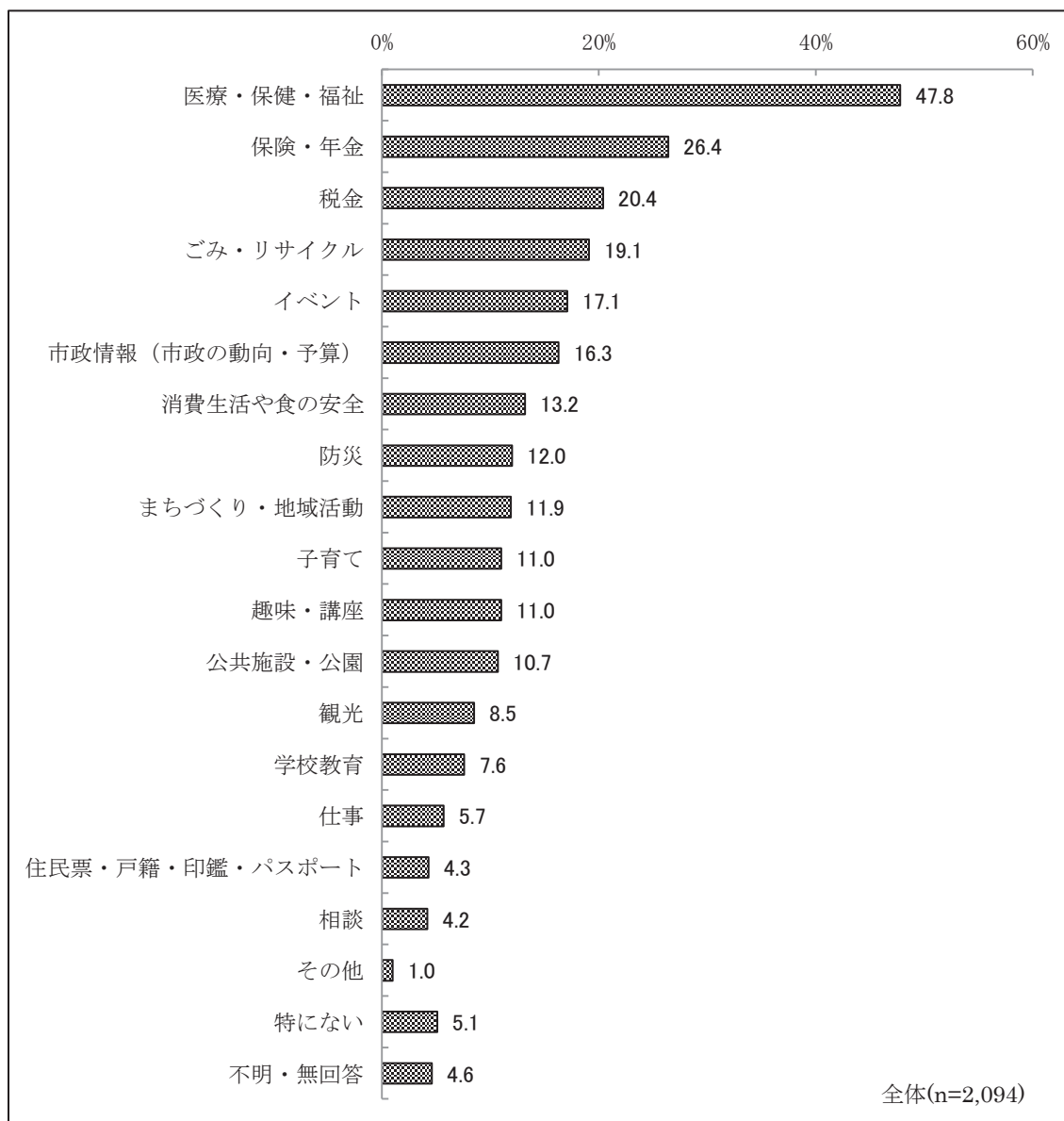
⑩その他



図のみの掲載とする。

(3) 市に関するどんな情報が知りたいか

問3 1 あなたは、市に関するどの分野の情報をより知りたいですか。
(〇は3つまで)



市に関して知りたい情報は「医療・保健・福祉」が最多

【全体結果】

市に関して知りたい情報としては、「医療・保健・福祉」(47.8%)の割合が最も高く5割弱となっている。次いで、「保険・年金」(26.4%)、「税金」(20.4%)が2割を超えている。

【属性別結果】（図 3-2 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「医療・保健・福祉」については、江南区（52.0%）の割合が最も高く、南区（36.9%）が最も低くなっている。「保険・年金」については、北区（34.3%）で、最も割合が高い。

②性別

「医療・保健・福祉」については、男性（43.1%）に比べて女性（51.2%）で割合が高い。

③年齢別

「医療・保健・福祉」では、年齢が高いほど、割合が高い傾向がある。20～29歳（33.5%）で最も低く、75歳以上（56.1%）で最も割合が高い。「保険・年金」については、40代以下では2割に満たない。

図 3-2 市に関するどんな情報が知りたいか（地区別/性別/年齢別） 1/4

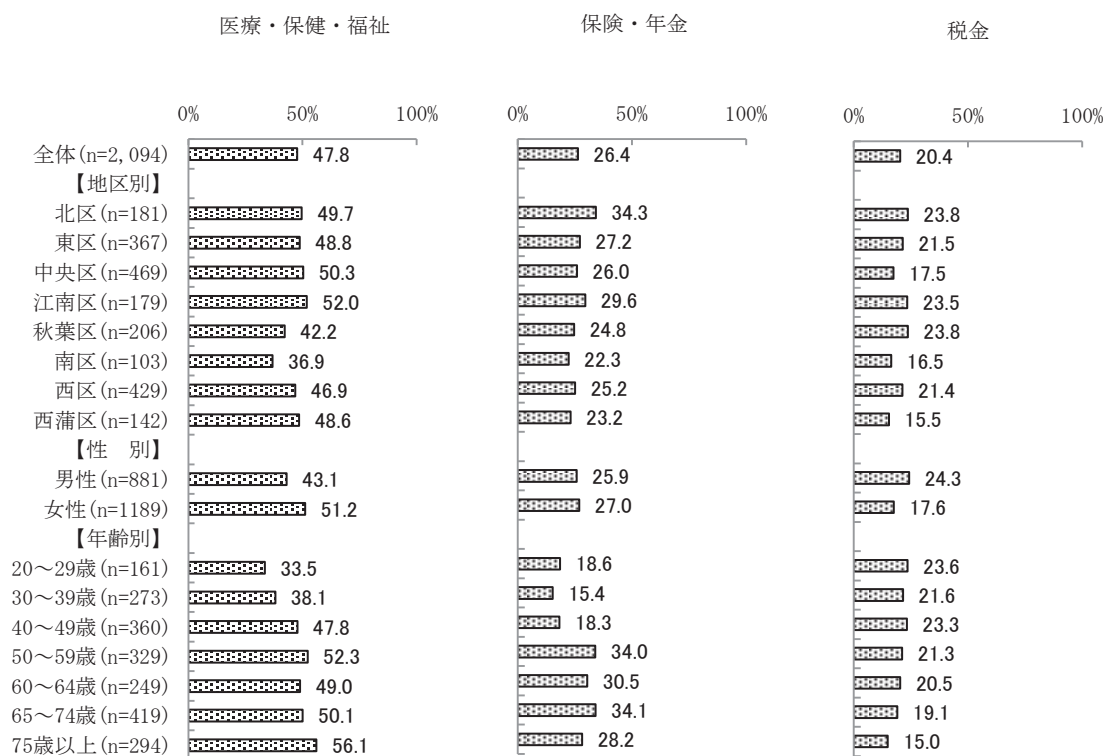


図 3-2 市に関するどんな情報が知りたいか（地区別/性別/年齢別） 2/4

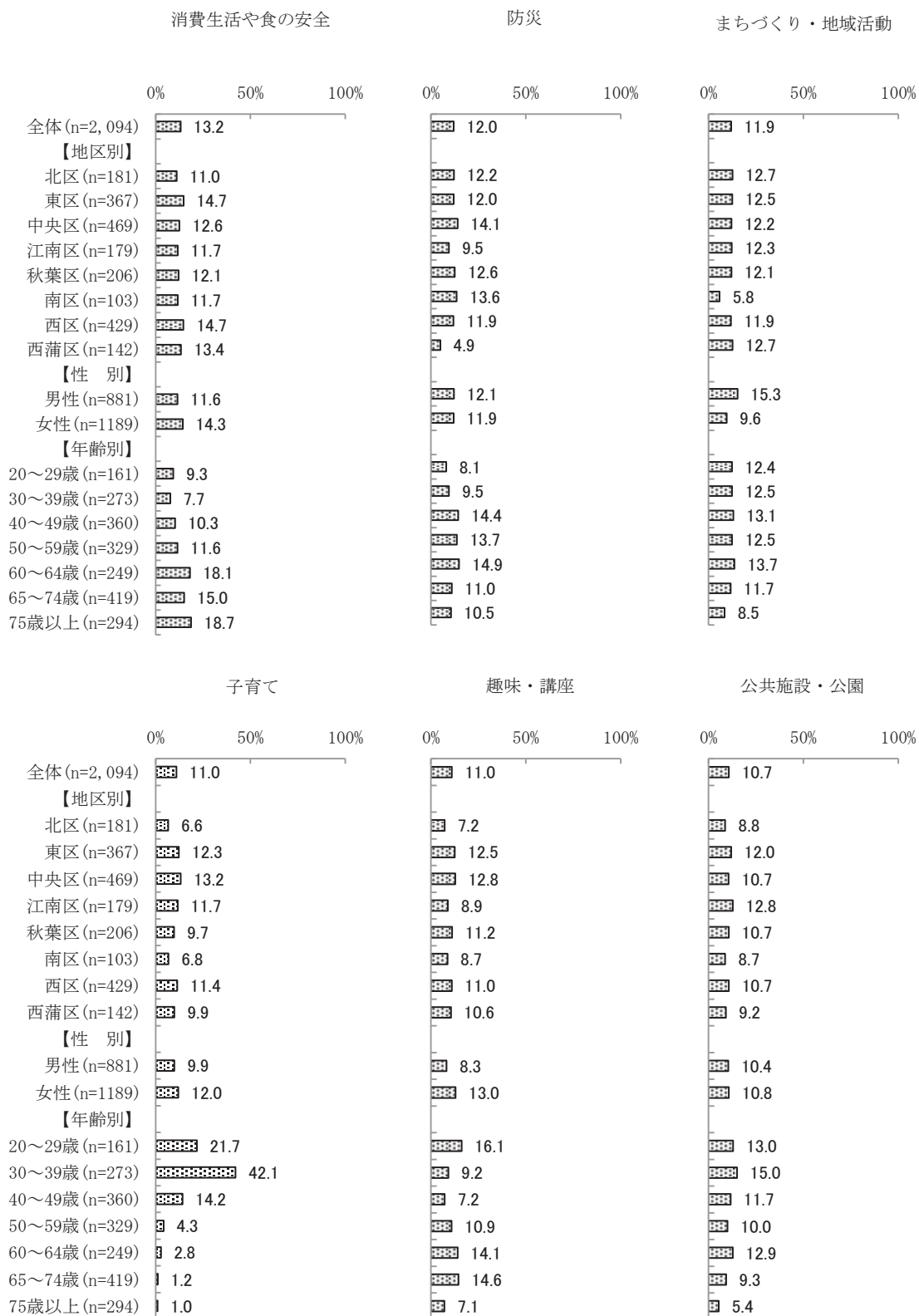


図 3-2 市に関するどんな情報が知りたいか（地区別/性別/年齢別） 3/4

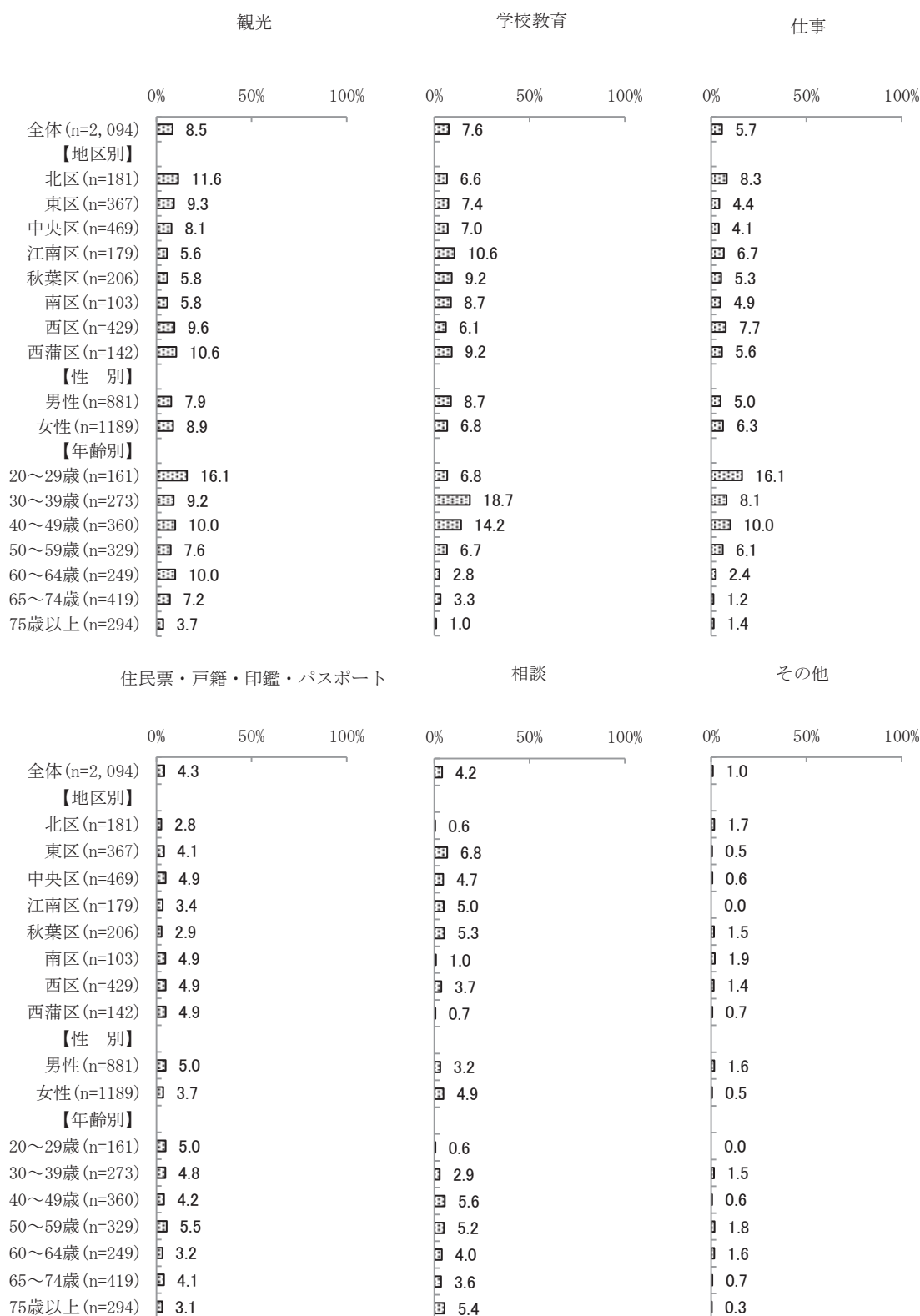
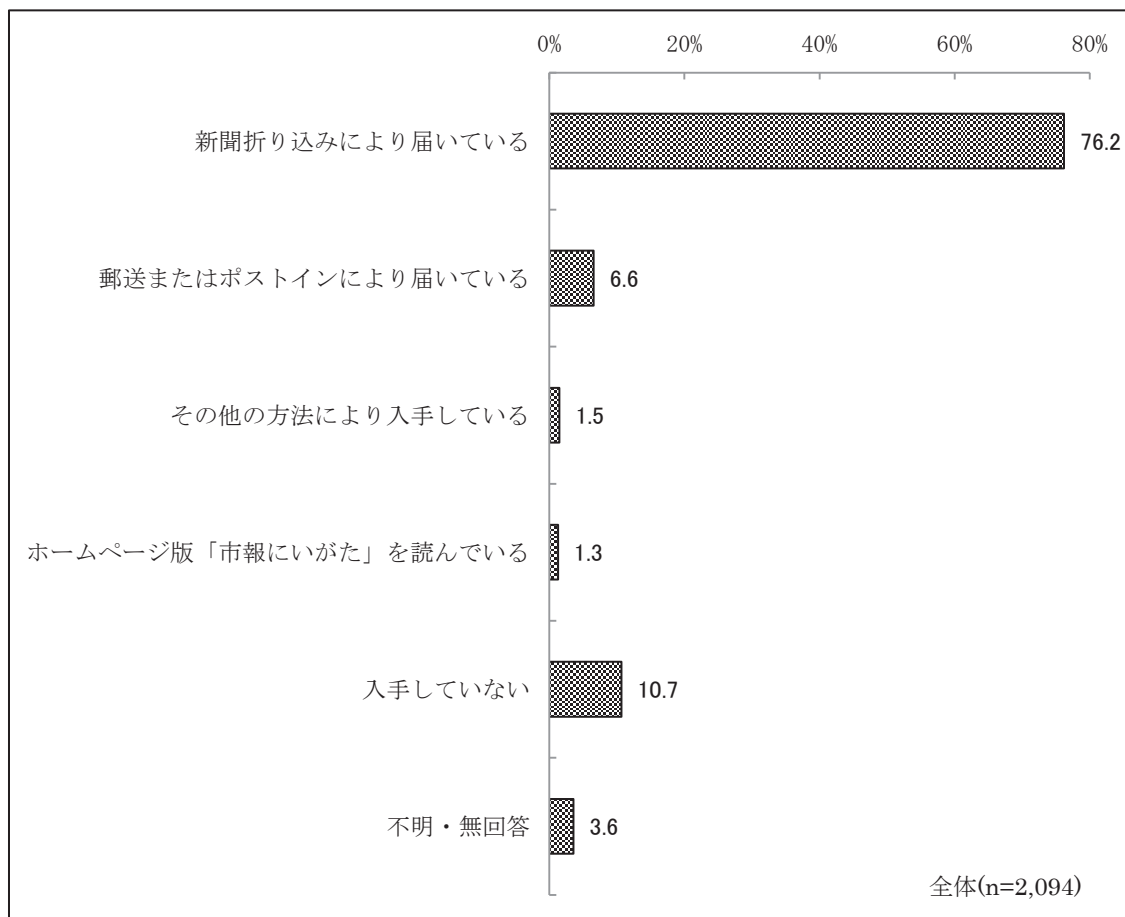


図 3-2 市に関するどんな情報が知りたいか（地区別/性別/年齢別） 4/4



(4) 「市報にいがた」の入手方法

問32 新潟市では、市の広報紙「市報にいがた」を新聞折り込みにより市内の各世帯に配布するとともに、新聞未購読世帯には、お申込みにより個別に郵送またはポストインによりお届けしています。
あなたはどの方法で「市報にいがた」を入手していますか。
(○は1つだけ)



「市報にいがた」の入手方法は「新聞折り込み」が最も多い

【全体結果】

「市報にいがた」の入手方法としては、「新聞折り込みにより届いている」(76.2%)が突出して高い割合になっている。一方、「入手していない」は10.7%となっている。

【属性別結果】(図3-3参照)

①地区別

「新聞折り込みにより届いている」の割合が最も高いのは秋葉区(80.1%)で、最も低いのは北区(71.8%)となっている。

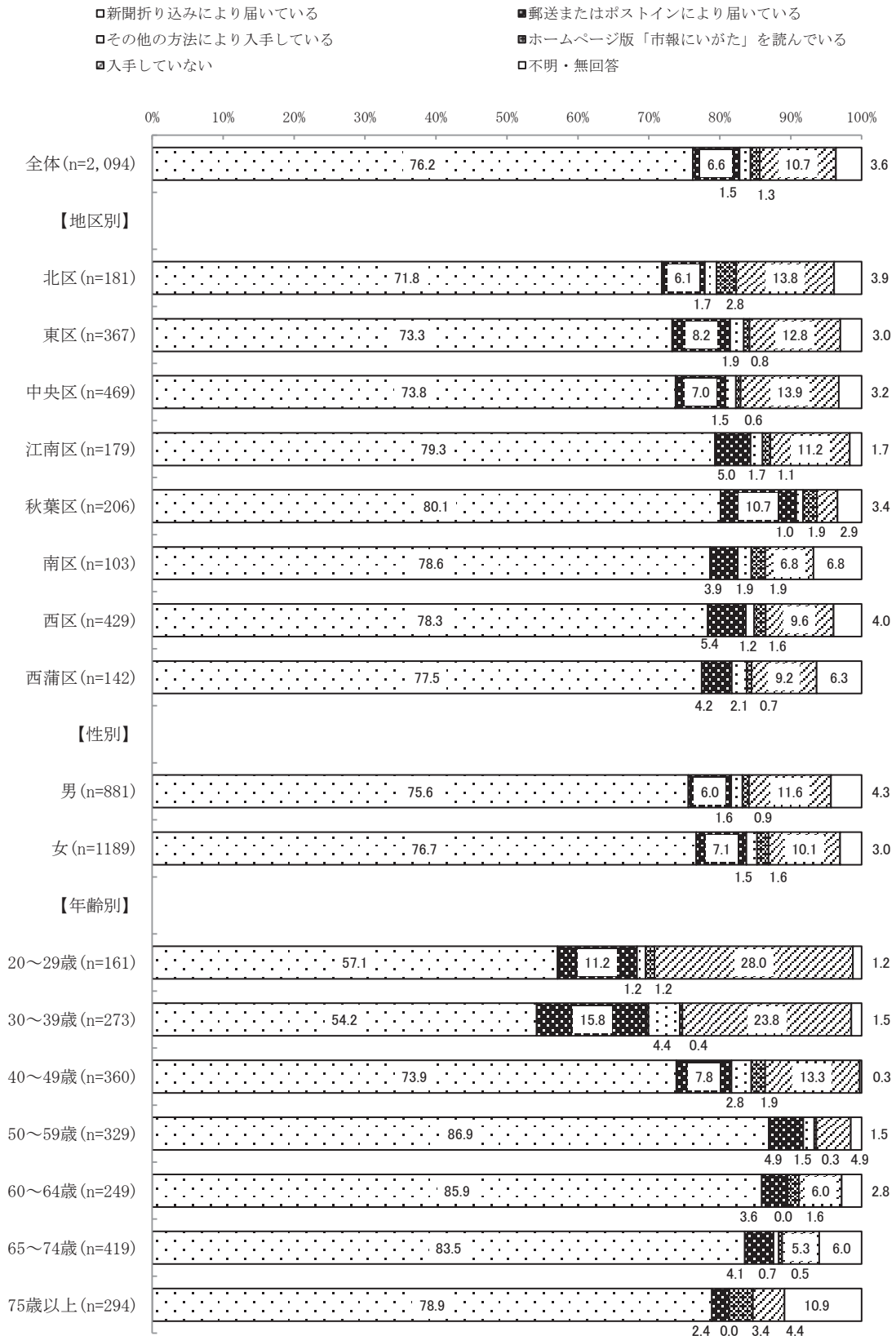
②性別

性別による差はほとんどない。

③年齢別

「新聞折り込みにより届いている」では、50代（86.9%）、60～64歳（85.9%）、65～74歳（83.5%）で、8割を超えた。20代（57.1%）、30代（54.2%）では、6割に満たなかった。

図 3-3 「市報にいがた」の入手方法（地区別/性別/年齢別）

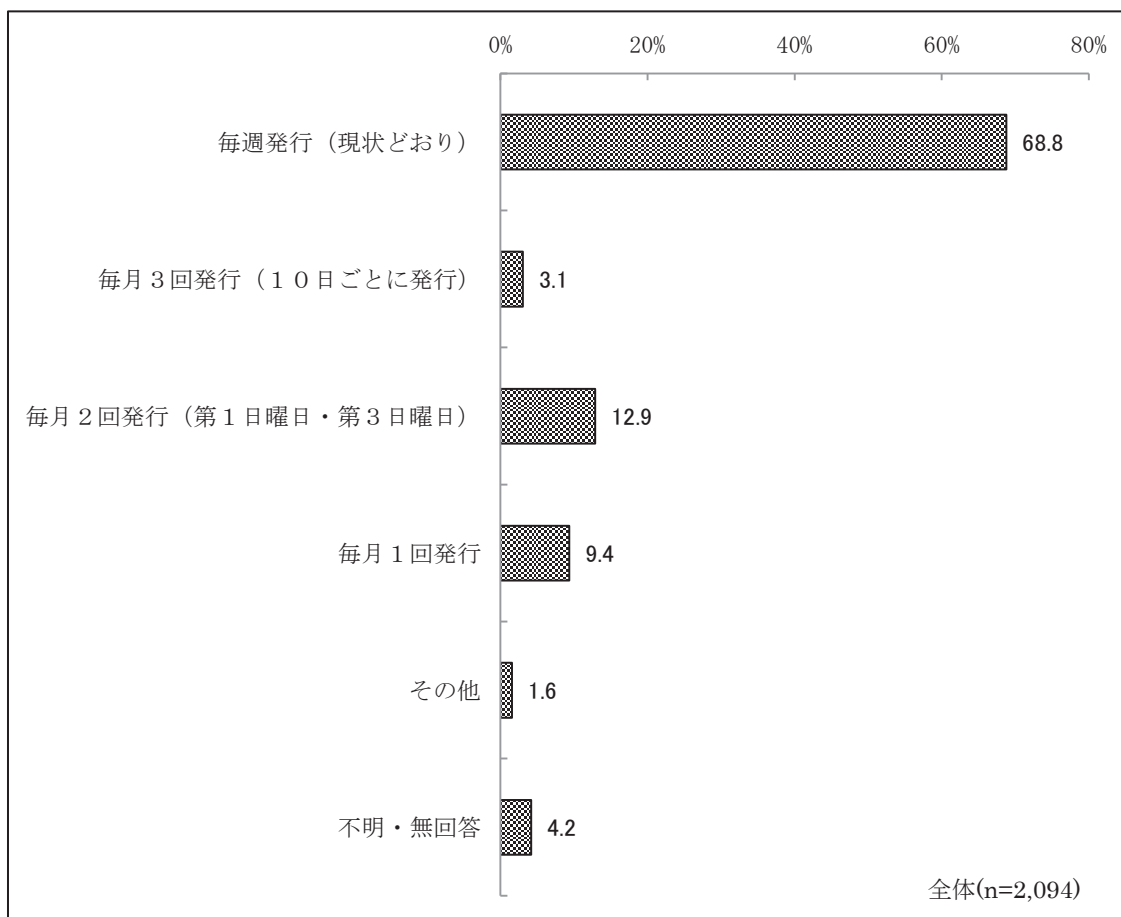


(5) 「市報にいがた」の発行頻度の希望

問33 新潟市では現在「市報にいがた」を毎週発行していますが、今後、どのような頻度での発行が適当だと思いますか。

(1か月あたりのページ数・情報量は変わらないものとします。)

(○は1つだけ)



「市報にいがた」の発行頻度の希望は現状維持が多数

【全体結果】

「市報にいがた」の発行頻度の希望は、「毎週発行 (現状どおり)」が最も高い割合で、約7割となっている。次いで「毎月2回発行 (第1日曜日・第3日曜日)」が12.9%。

【属性別結果】 (図3-4参照)

①地区別

「毎週発行 (現状どおり)」については、江南区 (72.1%) が最も高い割合となっている。次いで、西区 (71.6%)、東区 (70.8%)、中央区 (70.6%) と、いずれも7割を超えている。

②性別

「毎週発行（現状どおり）」について、女性（73.4%）の割合が男性（62.7%）を上回っている。

③年齢別

「毎週発行（現状どおり）」について、40代（73.9%）で最も高い割合となっており、75歳以上（64.6%）で最も低くなっている。

図 3-4 「市報にいがた」の発行頻度の希望（地区別/性別/年齢別）

